

バッテリー交換費用が高すぎる

フォークリフト保有企業が 抱える最大の悩み

バッテリー交換年数が短すぎる

バッテリー不具合で業務効率が下がる

01 費用の削減



バッテリー延命により、大幅な費用削減が可能です。 フォークリフトを保有する企業様の最大の悩みを解決いたします。

02 現場の安定稼働

バッテリー性能を維持し、現場業務の安定化に貢献します。 突発的なパワーダウンがなくなるため、現場事故の発生も低減されます。

03 産業廃棄物の削減



バッテリー延命により、産業廃棄物の削減が可能です。

)4 最適運用の標準化



バッテリーをより長く使用するために必要な運用方法を、 各車両のオペレーター様へ指導し現場運用の標準化をサポートいたします。

提供できる4つ の価値

-独自の延命運用ノウハウ-



【バッテリー状態の見える化】

計測データを基に各車両の稼働量や状態に合わせた最適な運用をご提案

計測項目

総電圧・各セル(比重/電圧/温度/補水量)

-独自の寿命延命装置-

※画像の製品ラベルは旧ブランドのものになります。



- ※ 特許(第7204254号)
- ※シリーズ累計販売台数 85万台

【バッテリー劣化防止・性能改善】

使用を続けるとバッテリーの電極板へ必ず付着するバッテリー劣化原因物質を分解・除去

劣化原因物質の付着を防止し、 寿命を延ばします。



フォークリフト運用ノウハウー例

車両の特性や現場での運用実態を詳細に把握し、各車両に最適な運用方法をご提案します。 延命実績に基づく確かな運用ノウハウを提供し、製品による延命効果を最大化します。

	発生しやすい車両	劣化原因	運用対策
過放電劣化	・高負荷/高稼働車両 ・アタッチメント車両	・残容量30%以下まで使用	・昼休みや休憩時間に補充電を行う ・常に残容量50%以上で使用
過充電劣化	・24h稼働現場車両	・残量90%以上で頻繁に充電 ・頻繁に均等充電	・残量80%以下で充電を行う ・フル充電頻度を減らす
高温度劣化	・高負荷/高稼働車両 ・2.5t以上の大型車両	・充電中/稼働後に椅子を上げない	・充電中/稼働後は椅子を上げる

※特例:液枯れによる単セル短絡

→週1回 定期的な補水作業の徹底

寿命延命装置の効果と仕組み

バッテリーが寿命を迎える95%の要因はサルフェーション劣化によるものです。

【サルフェーション劣化】

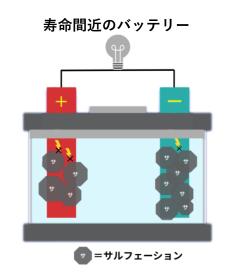
サルフェーション劣化とは、バッテリーの充放電によって発生する硫酸鉛(サルフェーション)が原因で起きる性能低下のことです。

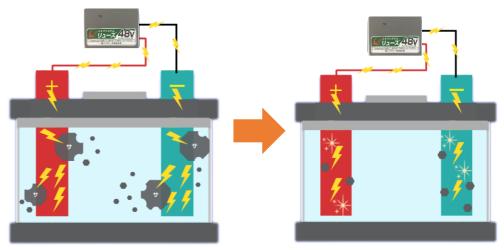
サルフェーションはバッテリーの電極板に付着し、時間とともに結晶化し電気を通しにくくします。 その結果、バッテリー容量の低下や寿命の短縮が引き起こされます。

【寿命延命装置の仕組み】

装置からバッテリーの電極板へ特殊なパルス(電気)を流すことで、サルフェーションの付着を防止・分解することが可能です。

劣化要因物質を取り除くことで、バッテリー本来の性能を回復・維持させ、容量回復・稼働時間の延 長・寿命延長を実現します。





期待効果:従来寿命の1.75倍~2倍

車両	延命実績 (導入前 ▷ 導入後)			従来寿命比較
リーチ 1.4t	3年~3年6か月	\triangleright	6~7年	
サイド 3.5t	2年6か月~3年	\triangleright	6年	2倍
カウンター 2.5t	2年~2年6か月	\triangleright	4年2か月	
カウンター 2.5t 全回転フォーク	5年6か月~6年	\triangleright	10年6か月	1.9倍
カウンター 1.5t	2年6か月	\triangleright	4年6か月	1 0/垃
リーチ 1.0t	2年6か月	\triangleright	4年6か月	1.8倍
サイド 1.5t	2年~2年6か月	\triangleright	3年6か月	1.75倍

※劣化が小さい状態から製品を導入した延命実績です

期待効果:バッテリー性能改善

使用現場	車両	製品導入時 経年	劣化状態	回復後状態	最終寿命 /現在状況
工場	カウンター 2.5t	2年7か月	午前中までしかバッテリーが持たない	終日使用が可能	4年2か月
物流倉庫	カウンター 3.0t	11年6か月	3時間しかバッテリーが持たない	終日使用が可能	15年10か月 稼働中
物流倉庫	リーチ 1.4t	3年0か月	15時を過ぎるとパワーダウン発生 夕方メーター残量が10%になってしまう	パワーダウン発生が無くなり、 夕方メーター残量30%以上まで回復	6年2か月
工場	カウンター 1.5t	4年6か月	昼補充電しても夕方メーター残量が 0〜15%になってしまう	夕方メーター残量50%まで回復	4年11か月 稼働中
物流倉庫	リーチ 1.5t	9年1か月	1日1回充電で終日持たない	新品時の1週間に1回の 充電サイクルに回復	12年9か月 稼働中
物流倉庫	カウンター 1.5t	12年7か月	2時間しかバッテリーが持たない	新品時の4日に1回の 充電サイクルに回復	16年3か月 稼働中

期待効果:コスト約7~8割削減

製品型式	適応 バッテリー	対象フォークリフト	駆動 電圧	製品価格	工事費	合計	参考 バッテリー価格	コスト削減額	コスト削減率
FL-S48V	165~264Ah	小型	48V	¥120,000		¥156,200	¥450,000~¥700,000	¥293,800 ~ ¥543,800	65.3% ~ 77.7%
FL-M48V	265~464Ah	標準型	48V	¥180,000	¥36,200	¥216,200	¥750,000~¥1,250,000	¥533,800 ~ ¥1,033,800	71.2% ~ 82.7%
FL-L48V	465∼764Ah	大型	48V	¥250,000	+30,200	¥286,200	¥1,300,000~¥2,000,000	¥1,013,800 ~ ¥1,713,800	77.2% ~ 85.7%
FL-LL48V	765~864Ah	特殊・大型	48V	¥300,000		¥336,200	¥2,100,000~¥2,400,000	¥1,763,800 ~ ¥2,063,800	84.0% ~ 86.0%
FL-M72V/M80V	360~469Ah	特殊・ハイパワー	72/80V	¥260,000	¥47,000	¥307,000	¥1,300,000~¥1,700,000	¥993,000 ~ ¥1,393,000	76.4% ~ 81.9%
FL-L72V/L80V	470~600Ah	特殊・ハイパワー(高容量)	72/80V	¥330,000	747,000	¥377,000	¥1,750,000~¥2,200,000	¥1,373,000 ~ ¥1,823,000	78.5% ~ 82.9%

※寿命を2倍に延命した場合のシミュレーションです。 ※導入費用に加え、別途交通費を頂戴します。

コスト削減事例

茨城県 大手子供服物流倉庫 様

フォークリフト保有台数 15台

車両タイプ:リーチ 1.4t

荷役物:衣類

営業時間 :8:00~20:00

衣類入れ替え時期 繁忙期は延長あり

バッテリー型式: VCF3N 48V 210Ah/5h



導入車両15台平均 従来寿命の2.0倍の寿命延命 コスト削減額 540_{万円}

導入前			
バッテリー従来寿命	3年~3年6か月		
バッテリー交換費用	60万円/台		
フォークリフト台数	15台		
バッテリー交換費用 合計	900万円		



導入後		
バッテリー寿命	6年~7年	
システム導入費用	24万円/台	
システム導入 フォークリフト台数	15台	
システム導入費用 合計	360万円	

コスト削減事例

栃木県 アルミ製造加工事業者様

フォークリフト保有台数 20台

車両タイプ:カウンター 2.5t 全回転フォーク

→アタッチメント付き車両は高負荷のためバッテリーの劣化が激しい

高負荷車両例)ロールクランプ・ベールクランプ・カスケード・ハイマスト 等

バッテリー型式: VSDX565 48V 565Ah/5h



導入車両7台平均 従来寿命の**1.9**倍の寿命延命 コスト削減額 **770**万円

導入前		
バッテリー従来寿命	5年6か月~6年	
バッテリー交換費用	150万円/台	
全回転 フォークリフト台数	7台	
バッテリー交換費用 合計	1,050万円	



導入後		
バッテリー寿命	9年~10年6か月	
システム導入費用	24 万円/台	
全回転 フォークリフト台数	7台	
システム費用 合計	168万円	

よくある質問

- Q IchouSystemの寿命は何年ですか?
- A 製品設計上、15年程使用頂けます。製品より先にバッテリーが寿命を迎えた場合、 他のバッテリーへの付け替えが可能です。
- Q 製品はどの車両タイプに対応していますか?
- A リーチ、カウンター、クランプ、ウォーキー等、鉛蓄電池搭載車両全てに対応してます。
- 製品を設置することで、メーカー保証が外れることはありますか?
- A 過去一度もございません。
- Q どんなバッテリーでも寿命は1.5倍~2倍以上延命されますか?
- A バッテリーの劣化度合いと運用方法によって延命期間は変わります。導入前に現地でバッテリーの状態を計測させていただき、 延命の可能性や期待される効果、そして寿命を延ばすための最適な運用方法についてご説明いたします。
- 最適な運用は毎年変化しますか?
- A 変化します。そのため、導入後の保守サービス「バッテリー状態可視化&最適運用提案レポート」を提供しています。

よくある質問一覧はこちら<u>https://solid-net.co.jp/fb/qa/</u>

導入フロー

STEP 1



お問い合わせ

お問い合わせフォームより ご依頼ください

 STEP 4
 ※実費のみ(交通費のみ)請求いたします

 STEP4の実施は選択可能です



現地調査

バッテリー計測を実施 おおよその延命期間を判断します STEP 2

※無料です



ヒアリング(電話)

フォークリフトの運用状況や バッテリー情報等をヒアリングします

STEP 5



見積書提出

製品取り付け前の最終確認をします

STEP 3

※無料です



製品のご説明(オンライン)

製品の効果、事例、製品取り付け時の注意点などをご説明いたします

STEP 6



製品設置

製品設置工事およびバッテリー計測を実施